



西目屋村

保存版

防災マップ

改訂

〈避難情報の5段階警戒レベル〉

詳細は2ページへ掲載

レベル

5

命の危険 直ちに安全確保！

レベル

4

危険な場所から全員避難

レベル

3

危険な場所から高齢者等は避難

※高齢者等以外の人、必要に応じて自主的に避難

レベル

2

自らの避難行動を確認する

レベル

1

気象情報に注意し、
災害への心構えを高める

必ず目立つ場所に置いてください

確実に避難して、自らの命、家族の命を守るために！

村民の皆様へ

「西目屋村防災マップ」は、国や青森県が公表した津軽ダム下流河川区間について津軽ダム地点で異常洪水防災操作を実施するような規模の降雨による浸水想定区域図、岩木川水系大秋川・平沢川について水防法の規定により指定された想定し得る最大規模の降雨による浸水想定区域図、大雨や地震によるため池の決壊を想定した浸水想定区域図、土砂災害特別警戒区域、土砂災害警戒区域、火山噴火影響範囲及び指定避難所などの情報を示した総合的なマップです。

水害、土砂災害、および火山災害は、ある程度発生の予測が可能であり、適切な避難行動をとれば、人的被害を最小限に抑えられる災害です。

行政による救援や救助の「公助」だけではなく、村民一人ひとりが、自分の命は自分で守る「自助」、地域やコミュニティといった周囲の人たちが協力して助け合う「共助」を常に心がけ、災害発生時の避難行動を確認するなど、日頃から災害に備えておくことが重要です。

ご家庭や地域で日頃からの備えとして本書を参考にいただき、自主防災意識を高め、いざというときにご活用いただければ幸いです。

西 目 屋 村

索引

村民の皆様へ、索引	1
警戒レベルを用いた避難情報	2
防災気象情報	3・4
洪水・浸水害について	5
土砂災害について	6
地震対策について	7
マイ・タイムライン	8
西目屋村避難所・避難場所一覧	9

西目屋村全体図	10
洪水・土砂ハザードマップ	11～20
ため池ハザードマップ	21・22
火山ハザードマップ	23・24
わが家の防災対策&チェック	25
わが家の防災メモ 非常時持出品の準備&チェック	26
防災情報収集方法	裏表紙
災害用伝言ダイヤル	
防災関係機関連絡先・奥付	

！警戒レベルを用いた避難情報

警戒レベルについて 警戒レベルは、住民が災害時にとるべき避難行動が直感的にわかるよう、避難情報等を5段階に整理したものです。

警戒レベル	状況	住民がとるべき行動	避難情報等
5	災害発生 又は切迫	命の危険 直ちに安全確保！	きんきゅうあんぜんかくほ 緊急安全確保 ※1
~~~~~ < 警戒レベル4までに必ず避難！ > ~~~~~			
4	災害の おそれ高い	危険な場所から 全員避難	ひなんしじ <b>避難指示</b>
3	災害の おそれあり	危険な場所から 高齢者等は避難	こうれいしゃとうひなん <b>高齢者等避難</b> ※2
2	気象状況悪化	自らの避難行動を 確認する	レベル2 大雨・土砂災害・氾濫・高潮注意報 (気象庁)
1	今後気象状況 悪化のおそれ	災害への心構えを 高める	早期注意情報 (気象庁)

- ※1 市町村が災害の状況を確実に把握できるものではない等の理由から、**警戒レベル5は必ず発令される情報ではありません**。  
また、警戒レベル相当情報(氾濫発生情報、土砂災害警戒情報など)が発令されたとしても、必ずしも同時刻に同じレベルの避難情報が発令されるものではありません。
- ※2 警戒レベル3は、高齢者や障害のある人、妊産婦、乳幼児連れの人など、避難に時間がかかる人は避難を開始するタイミングです。それ以外の人も、必要に応じ普段の行動を見合わせ始めたり、避難の準備をしたり、危険を感じたら自主的に避難するタイミングです。

- **警戒レベル5** は、すでに安全な避難ができず命が危険な状況です。警戒レベル5 緊急安全確保の発令を待ってはいけません。
- **警戒レベル4** 避難指示までに自らの判断で危険な場所から全員避難しましょう。
- 避難に時間のかかる高齢者や障害のある人、妊産婦、乳幼児連れの人などは、**警戒レベル3** 高齢者等避難で危険な場所から避難しましょう。



(ページ内の図表は内閣府・気象庁ホームページより抜粋、編集)

# i 防災気象情報

## 警戒レベルと防災気象情報

防災気象情報(河川氾濫・大雨・土砂災害・高潮)は、5段階の警戒レベルに合わせて発表され、それぞれの災害の危険度に応じた情報が住民に提供されます。

	河川氾濫 1級河川などの 大河川の氾濫	大雨 低地の浸水や 大河川以外の氾濫	土砂災害 急傾斜地のがけ崩れや 土石流	高潮 海水面の上昇や 波の打上げによる浸水
警戒レベル 5相当	レベル5 氾濫特別警報	レベル5 大雨特別警報	レベル5 土砂災害特別警報	レベル5 高潮特別警報
----- <警戒レベル4までに危険な場所から かならず避難！> -----				
警戒レベル 4相当	レベル4 氾濫危険警報	レベル4 大雨危険警報	レベル4 土砂災害危険警報	レベル4 高潮危険警報
警戒レベル 3相当	レベル3 氾濫警報	レベル3 大雨警報	レベル3 土砂災害警報	レベル3 高潮警報
警戒レベル 2	レベル2 氾濫注意報	レベル2 大雨注意報	レベル2 土砂災害注意報	レベル2 高潮注意報
警戒レベル 1	早期注意情報			

## 警戒レベルに直接対応しない特別警報・警報・注意報について

警戒レベルがついていない特別警報や警報・注意報もあります。

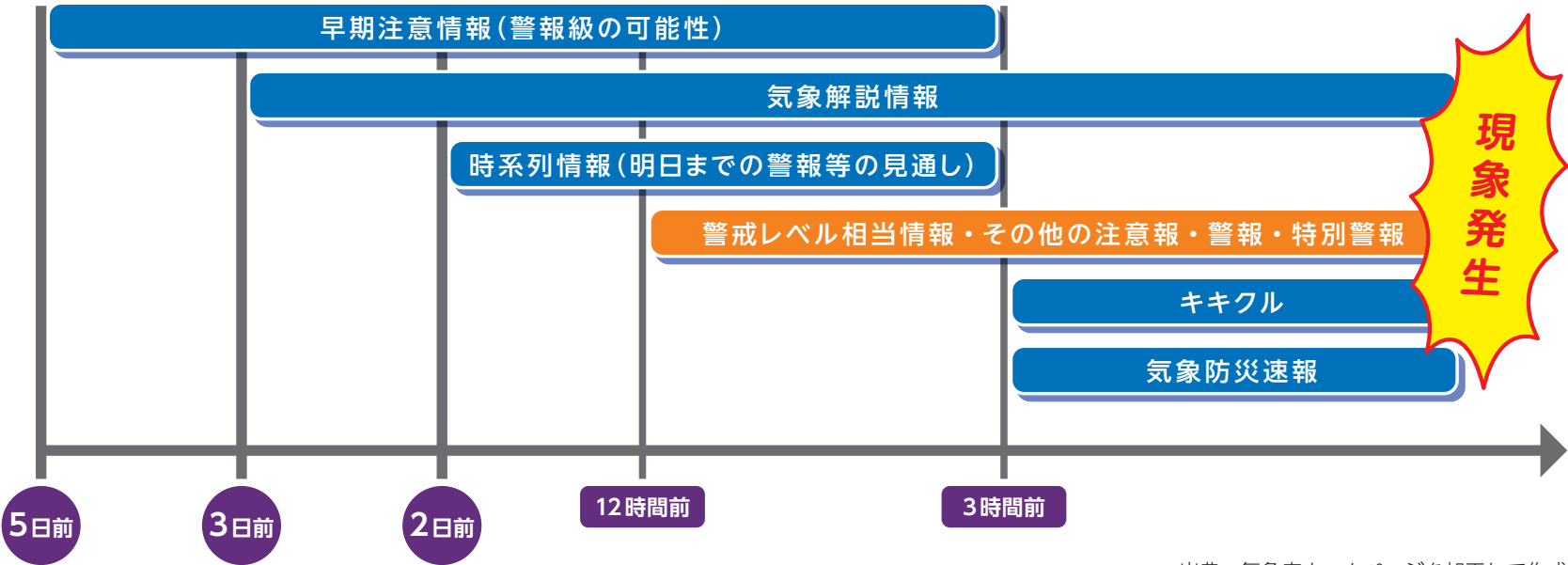
特別警報や警報が「黒色」や「赤色」で表示されていても、それが「警戒レベル3」や「警戒レベル4」などの避難のタイミングを直接示すものとは限りません。色の表示だけでなく、警戒レベル相当情報や市町村などの避難情報もあわせて確認しましょう。

特別警報	暴風、波浪、大雪、暴風雪
警報	暴風、波浪、大雪、暴風雪
注意報	強風、波浪、大雪、風雪、濃霧、雷、乾燥、なだれ、着氷、着雪、霜、低温、融雪

※これらの特別警報や警報は、レベル5(緊急安全確保)やレベル3(高齢者等避難)には相当しないことに留意してください。

## 段階的に発表される防災情報

災害の発生が見込まれる場合、警戒レベルや防災気象情報が段階的に発表されます。これらの情報を活用し、状況に応じて早めの備えや避難などの行動につなげましょう。



出典：気象庁ホームページを加工して作成

## 早期注意情報(警報級の可能性)

警報級の現象が5日先までに予想されているときには、その可能性を「早期注意情報(警報級の可能性)」として[高]、[中]の2段階で発表しています。警報級の現象は、ひとたび発生すると命に危険が及ぶなど社会的影響が大きいため、可能性が高いことを表す[高]だけでなく、可能性が高くはないが一定程度認められることを表す[中]も発表されます。

## 気象解説情報

気象解説情報は、現在の気象状況と今後の見込みを伝え、災害への備えや今後の防災対応の検討・判断を後押しする情報であり、現在及び今後の気象状況や災害発生の危険度の見通しを網羅的に伝える情報として発表されます。

気象解説情報(線状降水帯半日前予測)

気象解説情報(台風第○号)

気象解説情報(大雨)

## 時系列情報(明日までの警報等の見通し)

時系列情報は、警報・注意報に先立って気象の見通しを提供する予測情報です。警報・注意報の発表に関わらず、時系列情報の対象とする「大雨、土砂災害、風、波、高潮、雷、乾燥、大雪、融雪、濃霧、着氷、着雪、なだれ、低温、霜」について、気象庁ホームページで常時表示されます。

## キキクル(危険度分布)

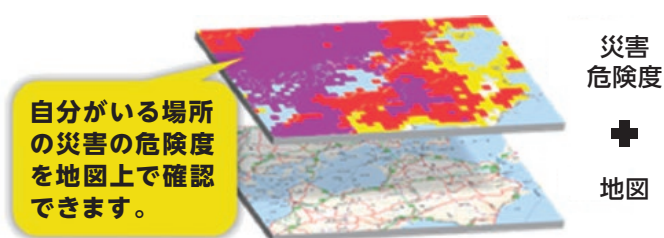
大雨や洪水、土砂災害などのリスクが地図上で色分けされ、現在どこがどの程度危険なのかをリアルタイムで分かりやすく示すサービスです。

### 主な特徴

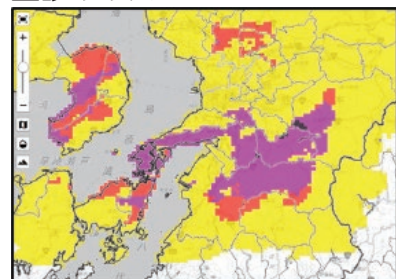
#### 危険度を5段階に色分け



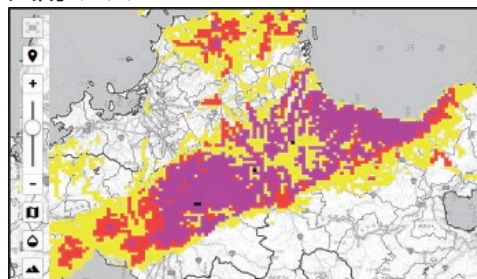
#### 地図上にほぼリアルタイム表示



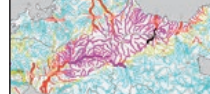
#### 土砂キキクル



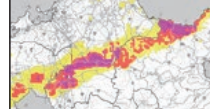
#### 大雨キキクル



#### 浸水キキクル



#### 洪水キキクル



アクセスはこちらから

※気象庁HPでは洪水キキクルと浸水キキクルも切り替えて閲覧が可能です。

## 気象防災速報

気象防災速報は極端な現象を速報的に伝える情報です。この情報が発表されたら、キキクルなどの他の防災気象情報や、自治体が発令する避難情報にも留意し、身の安全を確保してください。

気象防災速報(記録的短時間大雨)

気象防災速報(線状降水帯発生)

気象防災速報(線状降水帯直前予測)

気象防災速報(短時間大雪)

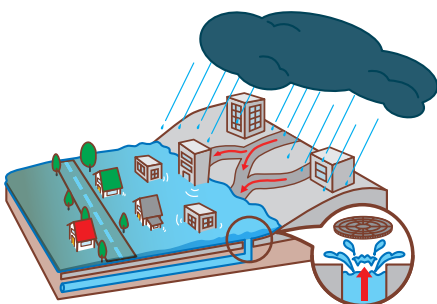
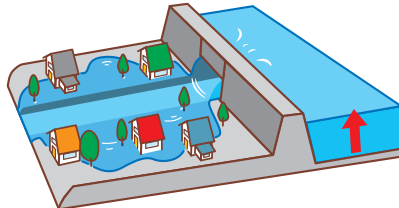
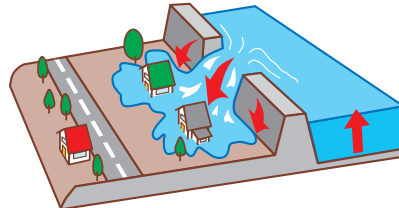
気象防災速報(竜巻注意/竜巻目撃)

出典：気象庁ホームページを加工して作成



# 洪水・浸水害について

## 氾濫の種類

内水氾濫		外水氾濫
氾濫型	湛水型	
		
河川沿いに限らず起こる	河川の近くで発生	河川の水位上昇が関係
短時間の強い雨等により、下水道や側溝が雨水をさばき切れず発生します。	河川の水位が高くなったため、河川周辺の雨水を川へ排水できず発生します。	河川の水位が上昇し、堤防を越えたり、堤防が決壊することにより発生します。

## 大雨に関する情報

大雨に関する情報は、内水氾濫による浸水(湛水型の内水氾濫も含む)水位周知河川・その他の中小河川の外水氾濫を対象として発表基準を満たす場合に、市町村単位で発表されます。

## 河川氾濫等に関する情報

1級河川などの大河川の氾濫は、河川ごとに氾濫等の情報が詳しく発表されます。  
自分の地域を流れる川についてどのように情報が発表されるか、あらかじめ確認しておくで安心です。

出典：気象庁ホームページを加工して作成

## 避難行動のポイント、危険な場所

### 1. 情報の確認

- 雨や台風などの状況を、テレビ・ラジオ・インターネットなどで確認し、最新の気象情報や避難指示等に関する情報を入手しましょう。  
川の防災情報 <https://www.river.go.jp/>

### 2. 防災責任者の指示に従う

- 避難のときは警察・消防・地元の防災責任者などの指示に従って行動しましょう。独断での行動は大変危険です。

### 3. 動きやすい服装、集団での避難

- 避難するときは、動きやすい格好で、二人以上での行動を心がけましょう。

### 4. 避難時の歩き方

- 避難中はできるだけ浸水していない場所を歩きましょう。避難途中で危険を感じたら、自宅の二階以上や近所のビルに避難しましょう。
- 浸水している場合には下水道のマンホールや側溝等への転落のおそれがあり危険ですので注意しましょう。

### 5. 隣近所への呼びかけ

- お年寄りや子供、病気の方は早めの避難が必要です。近所のお年寄りや子供、病気の人などの避難に協力しましょう。情報伝達や避難場所をとりまとめておくで便利です。

### 6. 車での避難は危険

- 自動車が水に浸かると動かなくなったり、水圧で扉が開かなくなったりして大変危険です。自動車での避難は特別の場合を除きやめましょう。

### 7. 橋や川の近くは危険

- 川が増水している場合には、川の流れが速く、橋が壊れたり流されたりして非常に危険ですので、近寄らないようにしましょう。

### 8. 川や用水路を見に行かない

- 大雨の時に、川や用水路の様子を見に行ったことで流されて被害に遭う場合があります。大雨時には絶対に川や用水路を見に行くことはやめましょう。

出典：国土交通省ウェブサイトを加工して作成



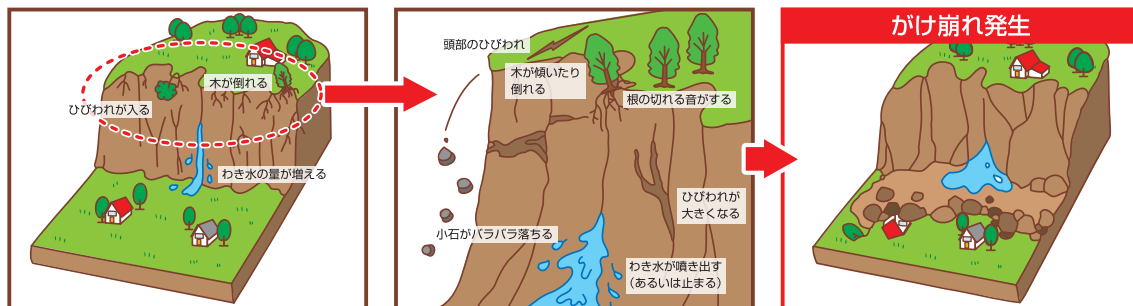
# 土砂災害について

## 土砂災害の種類

土砂災害は、大きく分けてがけ崩れ(急傾斜地の崩壊)、土石流、地すべりの3種類に分類される。

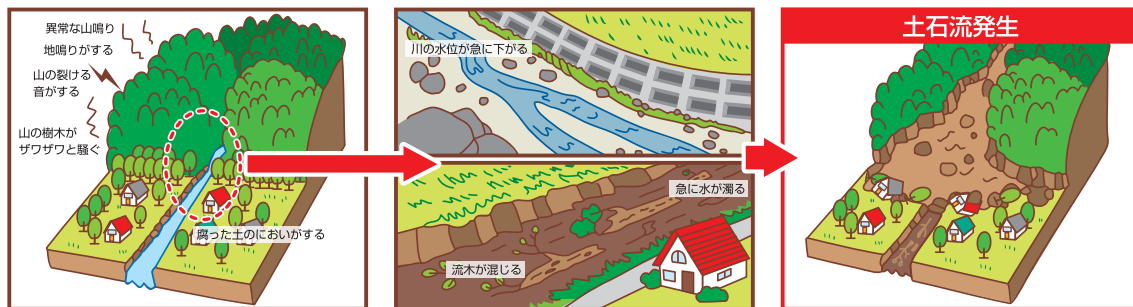
### がけ崩れ(急傾斜地の崩壊)

雨などの影響によって、土の抵抗力が弱まり、急激に斜面が崩れ落ちる現象。ひとたび人家を襲うと逃げ遅れる人も多く、死者の割合も高い。



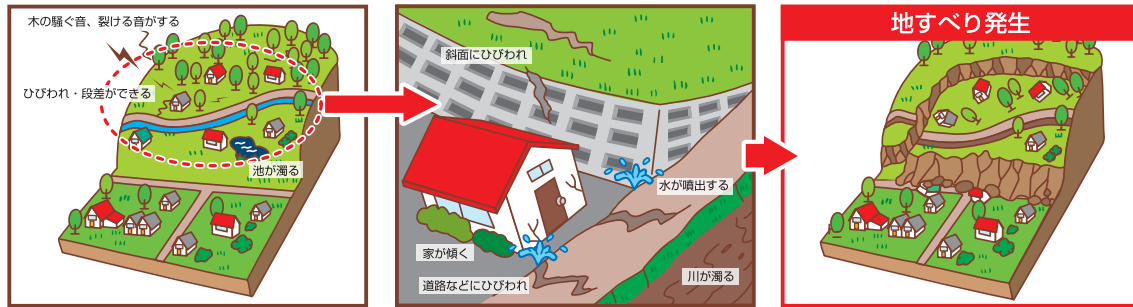
### 土石流

山腹や溪床を構成する土砂石礫の一部が雨などによって水と一体となり、一気に下流へ押し流される現象。流速 20～40km/h で一瞬のうちに人家などを壊滅させてしまう。



### 地すべり

斜面の土塊が地下水などの影響により、すべり面に沿ってゆっくりと斜面下方へ移動する現象。一般的に広範囲に及び移動土塊量が大きいいため甚大な被害を及ぼす可能性が高い。



※上記は一般的な前兆現象です。すべての場合において必ず起きるというものではありません。ふだんと違い、少しでも身に危険を感じたら避難するようにしましょう。

出典：国土交通省ウェブサイトを加工して作成

## 土砂災害の警戒区域

土砂災害防止法に基づき、都道府県は調査を実施し、土砂災害のおそれのある区域を以下の通り指定しています。

### 土砂災害 特別警戒区域(レッドゾーン)

建築物に損壊が生じ、住民等の生命又は身体に著しい危害が生じるおそれがある区域

### 土砂災害 警戒区域(イエローゾーン)

住民等の生命又は身体に危害が生じるおそれがある区域

出典：国土交通省ウェブサイトを加工して作成

## 避難行動のポイント

### 豪雨になる前に！

- お住まいの地域にレベル4土砂災害危険警報が発表されたら、自治体からの警戒レベル4避難指示の発令に留意し、土砂キキクルなどを参考にしながら、地域内の方々に声をかけあい、近くの避難場所など安全な場所に避難しましょう。特に、お年寄りや障害のある人など避難に時間がかかる人や、夜中に大雨が想定される場合は、警戒レベル3高齢者等避難が発令されたタイミング等で早めに避難することがより安全です。
- 土砂災害の多くは木造の1階で被災しています。浸水などで避難場所への避難が困難なときは、近くの頑丈な建物の2階以上や、家の中でより安全な場所(がけから離れた部屋や2階など)に移動しましょう。
- 普段から災害発生時の避難方法を確認していれば、避難行動を起こしやすくなります。村からの避難情報等の発令にかかわらず、前兆現象などの異変や危険を感じた場合は自主避難の判断をしましょう。

出典：首相官邸ホームページを加工して作成



# 地震対策について

## 地震の時はどのように行動したらいいか？

地震の揺れを感じた場合、あるいは緊急地震速報を見聞きした場合は、あわてずにまずは身の安全を確保してください。そして、落ち着いてテレビやラジオ、携帯電話やスマートフォンのワンセグやネット通信機能など、様々な手段を使って正確な情報の把握に努めましょう。

### 家庭で屋内にいるとき

- 家具の移動や落下物から身を守るため、頭を保護しながら大きな家具から離れ、丈夫な机の下などに隠れる。
- あわてて外に飛び出さない。
- 料理や暖房などで火を使っている場合、その場で火を消せるときは火の始末、火元から離れているときは無理に火を消しに行かない。



### 人が大勢いる施設(大規模店舗などの集客施設)にいるとき

- あわてずに施設の係員や従業員などの指示に従う。
- 従業員などから指示がない場合は、その場で頭を保護し、揺れに備えて安全な姿勢をとる。
- 吊り下がっている照明などの下から退避する。
- あわてて出口や階段に殺到しない。



### エレベーターに乗っているとき

- 最寄りの階で停止させて、すぐに降りる。



### 屋外にいるとき

- ブロック塀の倒壊や自動販売機の転倒などに注意し、これらのそばから離れる。
- ビルの壁、看板や割れた窓ガラスなどの落下に注意して、建物から離れる。



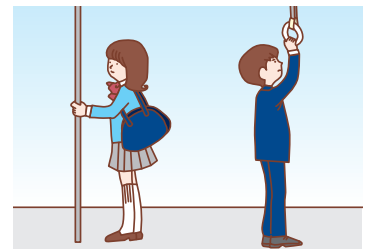
### 山やがけ付近にいるとき

- 落石やがけ崩れに注意し、できるだけその場から離れる。



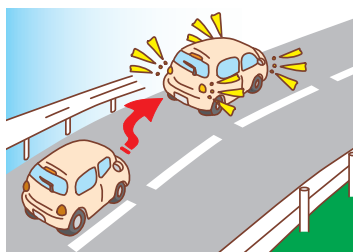
### 鉄道・バスに乗っているとき

- つり革や手すりにしっかりつかまる。



### 自動車運転中

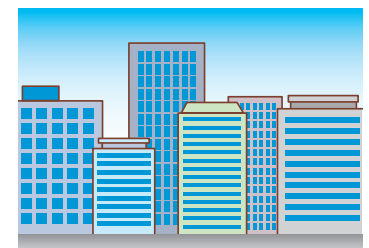
- あわてて急ハンドルや急ブレーキをかけず緩やかに速度を落とす。
- ハザードランプを点灯して周りの車に注意を促し、道路の左側に停止する。



### 大都市で地震に遭遇した時

**まずは、身の安全を確保した後、むやみに移動を開始しないことが基本!安全な場所にとどまることを考えましょう。**

- 道路では余震で頭上から物が落下してきたり、道中に火災が起こっていたりするなど、数多くの危険が予想されますので、安全な場所からはむやみに移動しないようにしましょう。
- 駅周辺等大混雑している場所では、人が将棋倒しになる集団転倒が起きやすくなります。駅周辺には近づかないようにしましょう。
- 発生3日程度は火災の発生や救助・救急活動優先のため、混乱状態が続きます。まず身を守るために安全な場所にとどまることを考えましょう。



出典：首相官邸ホームページを加工して作成

# i マイ・タイムライン

## 避難行動判定フロー

あなたがとるべき避難行動は？

必ず取り組みましょう

ハザードマップ(11～24ページ)  
で自分の家がある地区(住所)に危  
険区域があるか確認しましょう。

※ハザードマップは浸水や土砂災害、岩木山噴火による被害  
が発生するおそれの高い区域を着色した地図です。着色さ  
れていないところでも災害が起こる可能性があります。

家がある地区(住所)に「土砂災害警戒  
区域」・「洪水浸水想定区域」・「岩木山  
噴火の影響」のいずれかの色が塗られ  
ていますか？

「洪水」・「土砂災害」・「岩木山噴火」  
について原則として避難の必要は  
ありませんが、地図を確認し、周り  
と比べて低い土地(過去の洪水での  
浸水範囲)や崖のそばなどにお住ま  
いの方は、必要に応じて避難行動を  
とってください。

いいえ

はい

災害の危険があるので、原則として※、  
自宅の外に避難が必要です。

例外

岩木山噴火については立退き避難が必要です。

※浸水の危険があっても、

①浸水する深さよりも高いところにいる

②浸水しても水が引くまで我慢できる、水・食糧  
などの備えが十分にある場合は自宅に留まり  
安全確保をすることも可能です。

※土砂災害の危険があっても、十分堅牢な建物  
の上層階に住んでいる場合は自宅に留まり安  
全確保をすることも可能です。

はい

ご自身または一緒に避難する方は避難に  
時間がかかりますか？

いいえ

はい

安全な場所に住んでいて身を寄せられる親戚  
や知人はいますか？

はい

いいえ

洪水や土砂災害に関する  
警戒レベル 3 が出たら、  
安全な親戚や知人宅に避  
難しましょう(日頃から相  
談しておきましょう)

洪水や土砂災害に関する  
警戒レベル 3 が出たら、  
村が開設している指定緊  
急避難場所に避難しま  
しょう

(岩木山の場合は噴火警戒レベル4)

安全な場所に住んでいて身を寄せられる親戚  
や知人はいますか？

はい

いいえ

洪水や土砂災害に関する  
警戒レベル 4 が出たら、  
安全な親戚や知人宅に避  
難しましょう(日頃から  
相談しておきましょう)

洪水や土砂災害に関する  
警戒レベル 4 が出たら、  
村が開設している指定緊  
急避難場所に避難しま  
しょう

(岩木山の場合は噴火警戒レベル5)



# 西目屋村避難所・避難場所一覧

避難が必要になったときにはまず「避難場所」へ、その後は「避難所」へと状況に応じて速やかに行動できるように心がけましょう！

令和8年9月現在

No.	避難対象地区	施設名	所在地	掲載マップ	指定緊急避難場所 (災害の危険から逃げるための場所) ○避難可能 ×避難不可					指定避難所
					洪水	土砂	火事	地震	火山	
①	田代地区	西目屋村小学校体育館	田代字稲元 121-1	1・2	○	○	○	○	○	
②	田代地区	中央公民館	田代字稲元 143	1・2	○	○	○	○	○	○
③	杉ヶ沢地区	杉ヶ沢地区研修センター	杉ヶ沢宮崎 5	1	○	○	○	○	○	
④	白沢地区・大秋地区	大白公民館	大秋字開野 58-11	1	○	○	○	○	○	
⑤	村市地区	村市いこいの館	村市字稲葉 213-1	2	○	○	○	○	○	
⑥	藤川地区	藤川集会所	藤川字瀬ノ上 85-3	3	○	○	○	○	○	
⑦	居森平地区	居森平集会所	居森平字寒沢 63-2	3	○	×	○	○	○	

※避難対象地区は緊急時の各地区最寄りの避難場所です。災害時には最も近い避難場所へ避難してください。開設情報については村までお問い合わせください。

## 避難所、避難場所とは？

避難場所と避難所(正式には指定緊急避難場所及び指定避難所)については災害対策基本法に定められています。概要については以下の通りです。

### 避難所(指定避難所)

立ち退き避難や災害発生などにより自宅に戻れない人が一時的に生活する施設です。

### 避難場所(指定緊急避難場所)

火災・地震・洪水・土砂災害など災害の種類に応じて定めた身の安全を守るための広場や高台です。

### 福祉避難所(二次避難所)

避難所での生活が困難な高齢者や障がい者、妊産婦など、配慮を必要とする方を受け入れる施設です。

- 開設する避難所は、災害の種類、程度によって、その都度村が決定します。
- 福祉避難所は、避難生活の長期化に伴い、村(災害対策本部)が必要に応じて開設するものであるため、直接避難することとはご遠慮ください。

## 自宅の外へ避難する際の留意点

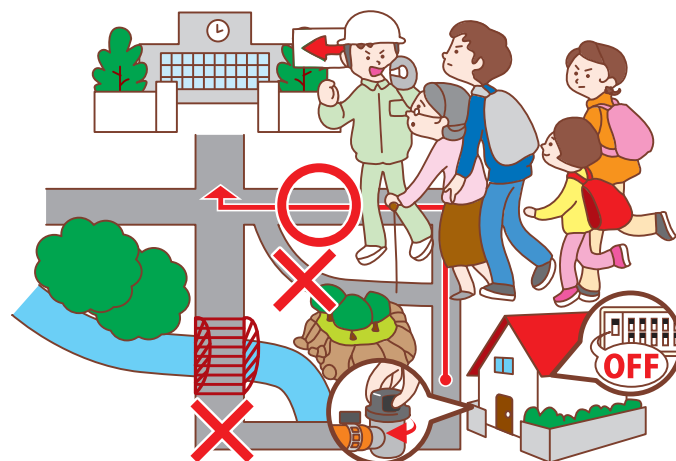
### ！ 避難するときの服装

- ヘルメット、帽子等をかぶる。
- 非常持ち出し袋はリュックサックに入れて背負う。(両手が使えるように)
- 長袖・長ズボンを着用する。
- 軍手や手袋をはめる。
- 靴は底の厚い、履き慣れたものを着用する。
- やむをえず夜間に移動の際は懐中電灯を持つ。



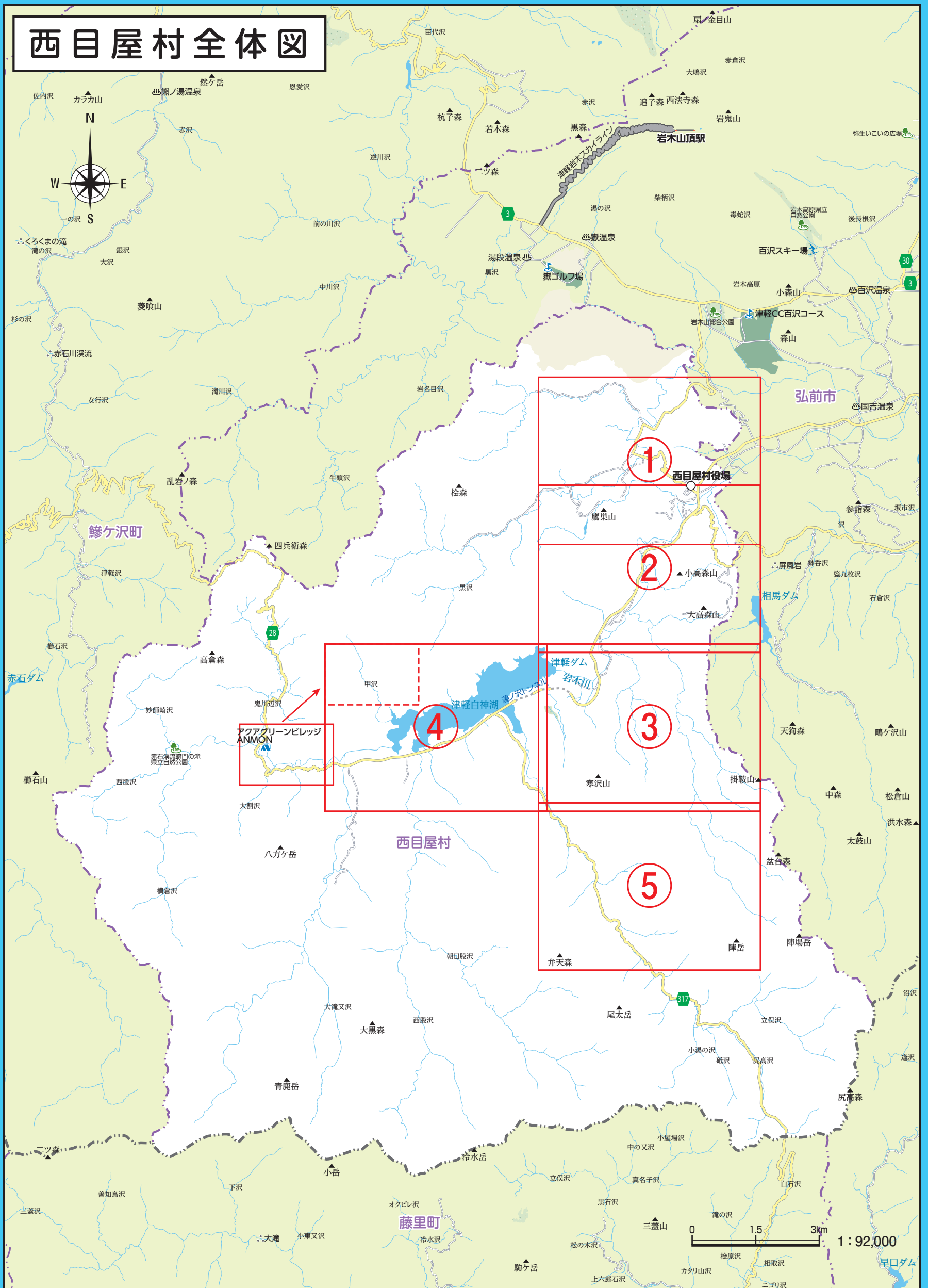
### ！ 避難時のポイント

- 自宅を離れる前にもう一度火元を確認する。
- ガスの元栓を閉め、電気のブレーカーを落とす。
- 持ち出す荷物は最小限にする。
- 近所の人に声をかけ、複数人で行動する。
- 避難先への移動は、できる限り自動車・自転車は使用しない。
- 狭い道やブロック塀、自動販売機のそば、川べり、ガラスや看板の多い場所を避ける。
- 子ども、障がい者、高齢者など避難行動要支援者がはぐれないよう配慮をしながら避難する。



上記は一般的な避難留意点です。各災害に応じた留意点も、個別ページでご確認ください。

# 西目屋村全体図



12

## 土砂災害凡例

**土砂災害  
特別警戒区域**  
著しい危険が生じる  
恐れのある区域

土砂災害  
警戒区域  
危険が生じる  
恐れのある区域

## 河川浸水想定凡例

浸水深20.0m以上

浸水深10.0~20.0m未満

浸水深5.0～10.0m未満

浸水深3.0~5.0m未満

浸水深0.5~3.0m未満

浸水深0.5m未満

浸水深の表示と配色は  
「洪水浸水想定区域図マニュアル  
(国土交通省・国土技術政策総合  
研究所)」による

## その他凡例

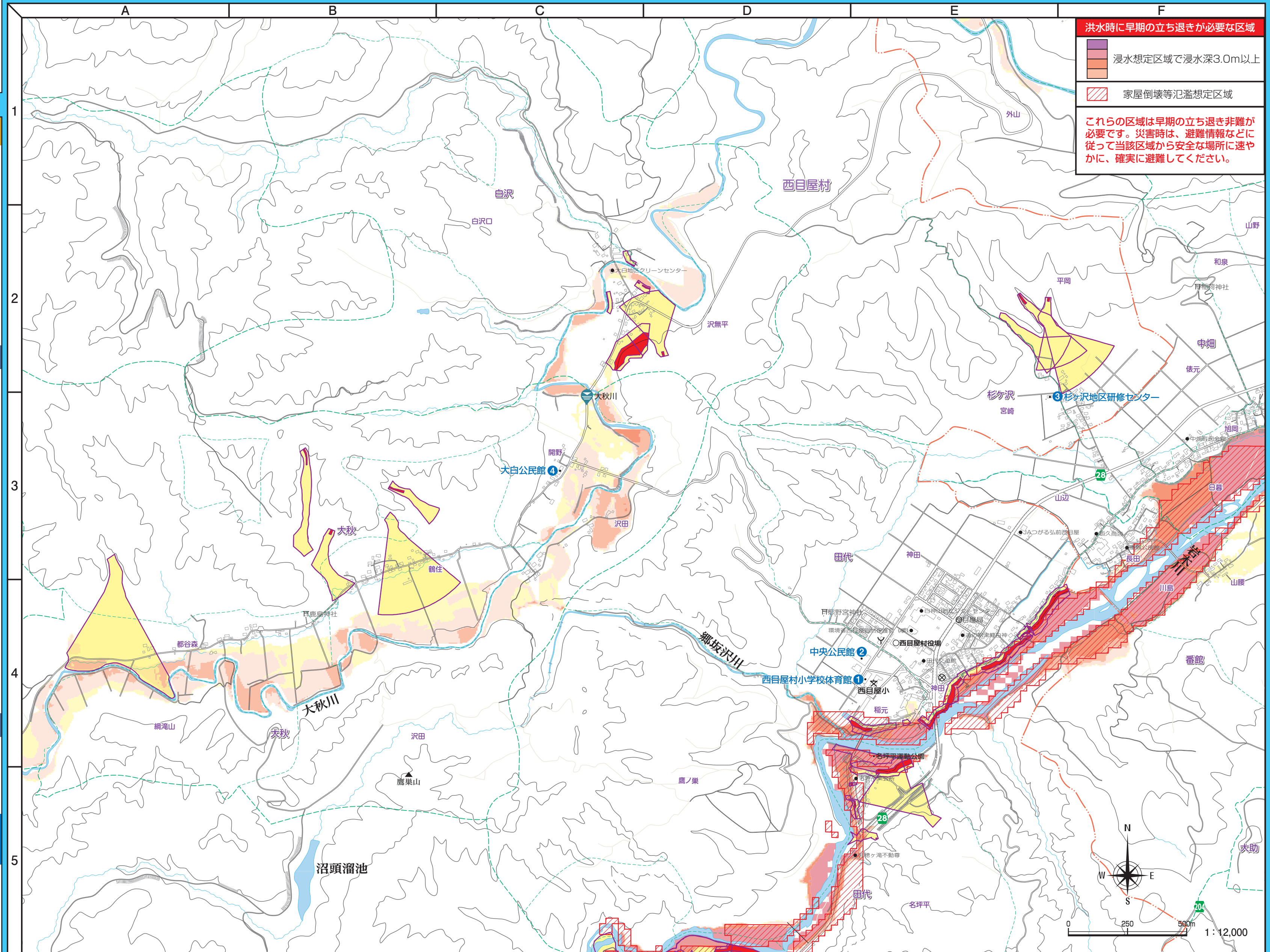
 河川監視カメラ
河川水位計

## 指定避難所

## 指定緊急避難場所

青色の番号と  
施設名で表示

※一部の施設は、指定緊急避難  
場所と兼用になっています  
各指定避難所・指定緊急避難  
場所についての詳細は、9ペー  
ジをご覧ください



	1	
	2	
4	3	

土砂災害凡例

土砂災害  
特別警戒区域

著しい危険が生じる  
恐れのある区域

土砂災害  
警戒区域

危険が生じる  
恐れのある区域

河川浸水想定凡例

浸水深20.0m以上

浸水深10.0～20.0m未満

浸水深5.0～10.0m未満

浸水深3.0～5.0m未満

浸水深0.5～3.0m未満

浸水深0.5m未満

浸水深の表示と配色は  
「洪水浸水想定区域図マニュアル  
(国土交通省・国土技術政策総合  
研究所)」による

その他凡例

河川監視カメラ

河川水位計

指定避難所

指定緊急避難場所

青色の番号と  
施設名で表示

※一部の施設は、指定緊急避難  
場所と兼用になっています  
各指定避難所・指定緊急避難  
場所についての詳細は、9ペ  
ージをご覧ください

西目屋村洪水・土砂ハザードマップ2

13

14

	2	
4	3	
	5	

土砂災害凡例

土砂災害  
特別警戒区域

著しい危険が生じる  
恐れのある区域

土砂災害  
警戒区域

危険が生じる  
恐れのある区域

河川浸水想定凡例

浸水深20.0m以上

浸水深10.0～20.0m未満

浸水深5.0～10.0m未満

浸水深3.0～5.0m未満

浸水深0.5～3.0m未満

浸水深0.5m未満

浸水深の表示と配色は  
「洪水浸水想定区域図マニュアル  
(国土交通省・国土技術政策総合  
研究所)」による

その他凡例

河川監視カメラ

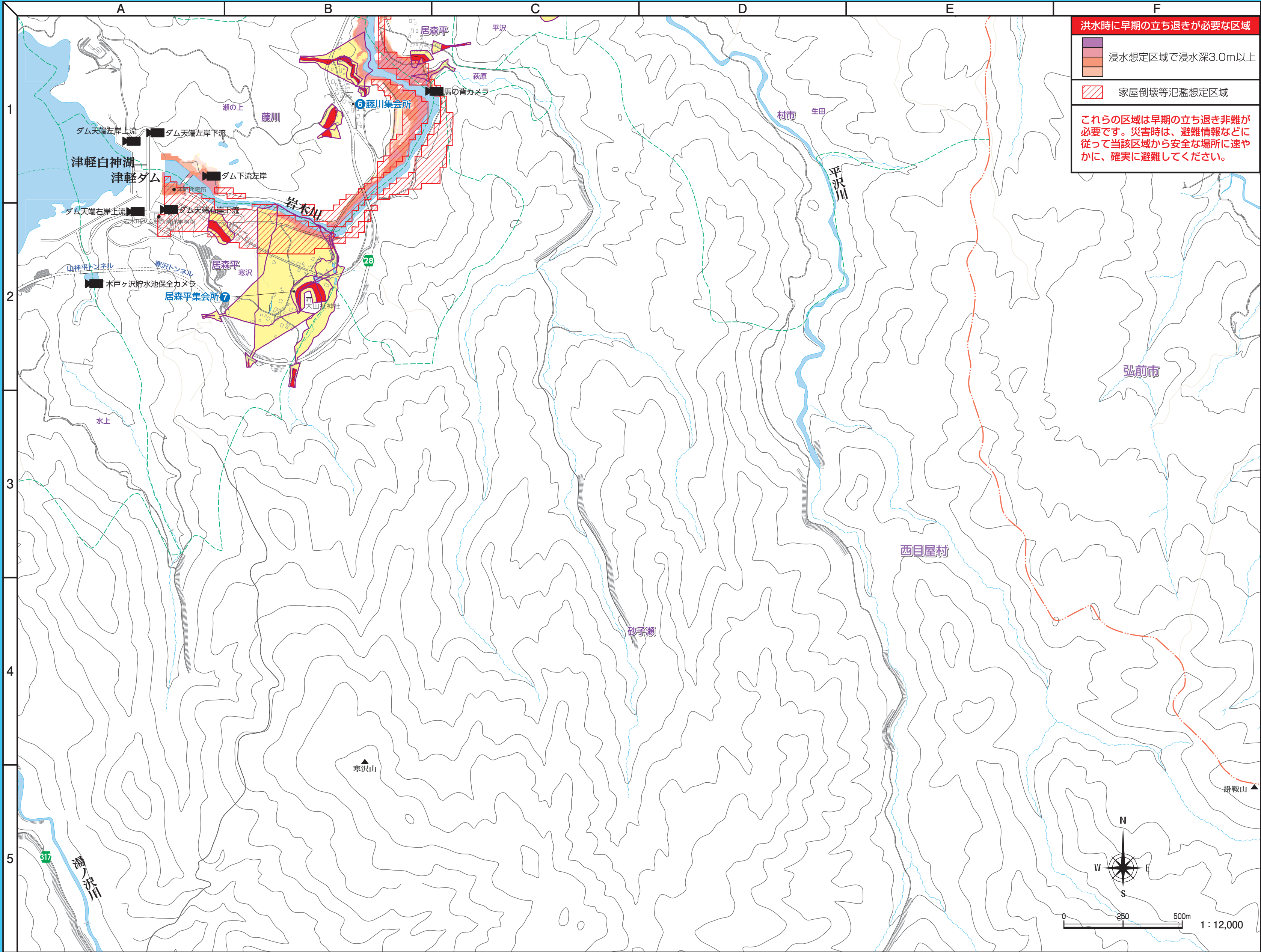
河川水位計

指定避難所  
指定緊急避難場所

青色の番号と  
施設名で表示

※一部の施設は、指定緊急避難  
場所と兼用になっています  
各指定避難所・指定緊急避難  
場所についての詳細は、9ペー  
ジをご覧ください

西目屋村洪水・土砂ハザードマップ3



2

3

5

カッタ

4

土砂災害凡例

土砂災害  
特別警戒区域  
著しい危険が生じる  
恐れのある区域

土砂災害  
警戒区域  
危険が生じる  
恐れのある区域

河川浸水想定凡例

浸水深20.0m以上

浸水深10.0～20.0m未満

浸水深5.0～10.0m未満

浸水深3.0～5.0m未満

浸水深0.5～3.0m未満

浸水深0.5m未満

浸水深の表示と配色は  
「洪水浸水想定区域図マニュアル  
(国土交通省・国土技術政策総合  
研究所)」による

その他凡例

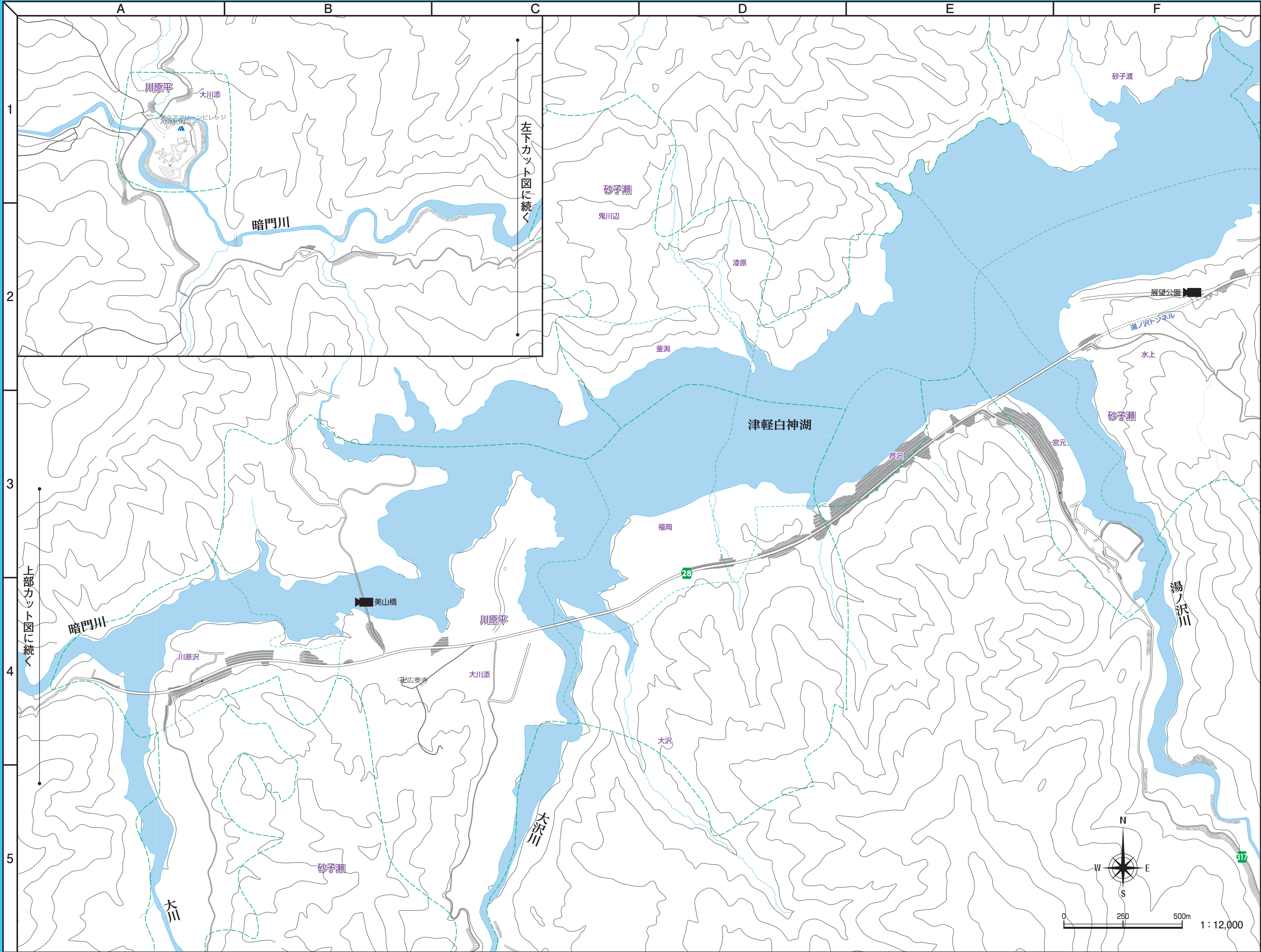
河川監視カメラ

河川水位計

指定避難所  
指定緊急避難場所

青色の番号と  
施設名で表示

※一部の施設は、指定緊急避難  
場所と兼用になっています  
各指定避難所・指定緊急避難  
場所についての詳細は、9ペー  
ジをご覧ください



土砂災害凡例

土砂災害  
特別警戒区域

著しい危険が生じる  
恐れのある区域

土砂災害  
警戒区域

危険が生じる  
恐れのある区域

河川浸水想定凡例

浸水深20.0m以上

浸水深10.0～20.0m未満

浸水深5.0～10.0m未満

浸水深3.0～5.0m未満

浸水深0.5～3.0m未満

浸水深0.5m未満

浸水深の表示と配色は  
「洪水浸水想定区域図マニュアル  
(国土交通省・国土技術政策総合  
研究所)」による

その他凡例

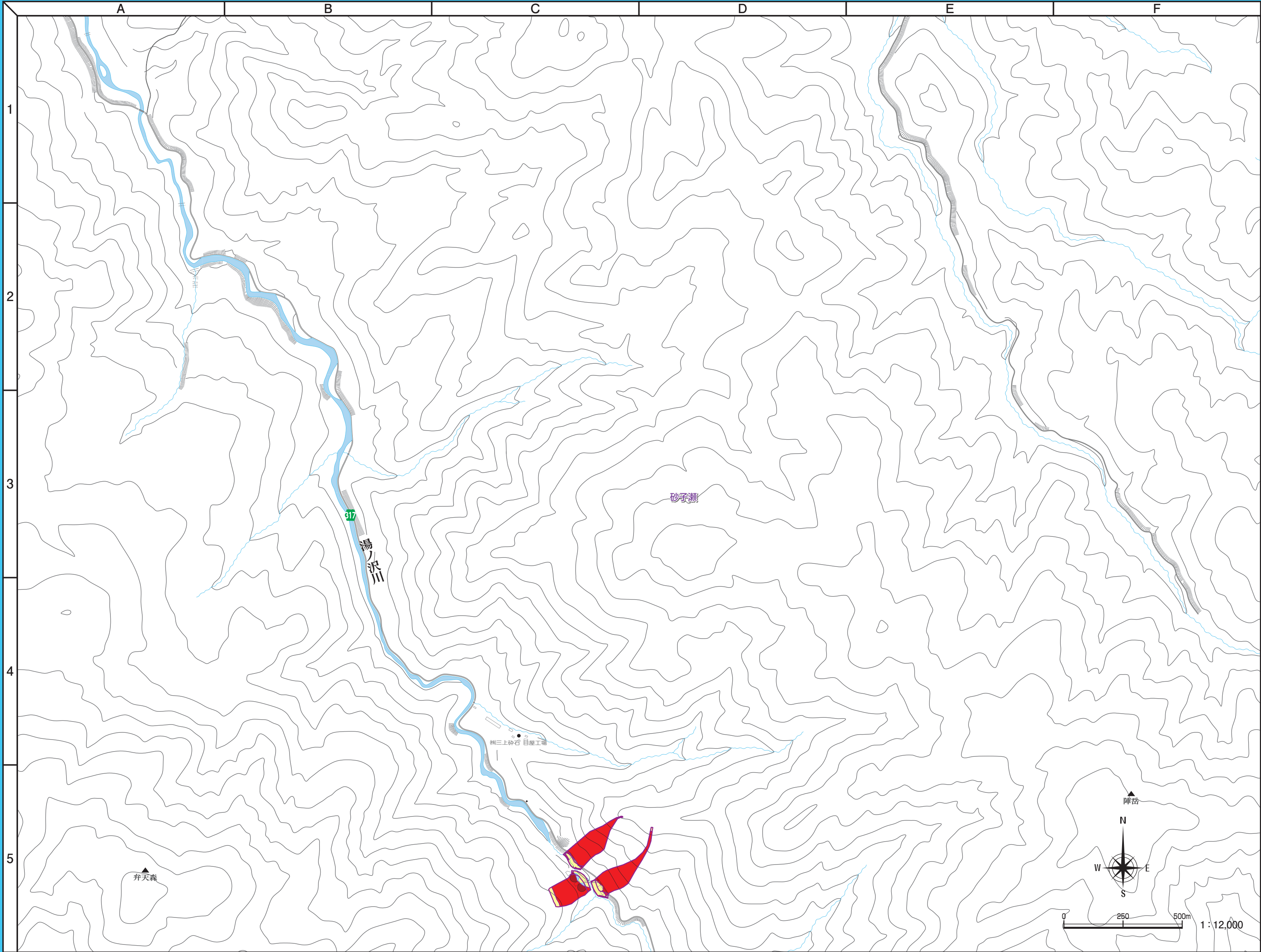
河川監視カメラ

河川水位計

指定避難所  
指定緊急避難場所

青色の番号と  
施設名で表示

※一部の施設は、指定緊急避難  
場所と兼用になっています  
各指定避難所・指定緊急避難  
場所についての詳細は、9ペー  
ジをご覧ください



## ため池ハザードマップについて

このマップは、農業用ため池が大雨や地震等の災害により、万が一にも堤が壊れ、皆さんの地域にため池の貯水が流出した場合を想定して作成したものです。

豪雨や大地震時には特に注意し、浸水想定区域で居住または作業を行っている方は、速やかに避難が必要です。

ため池の貯水は、流出してしまうと徐々に水は引きますが、ため池の周辺には沢や川があるため、継続して雨が降っている場合は完全に水が引くまで避難してください。

万一、安全な場所に避難できない場合でも、生命を守る最低限の行動として、近くで周囲の建物より比較的高い建物（鉄筋コンクリート等の堅固な建物）の2階以上に避難するようにしてください。

### 【ため池決壊のメカニズム】

### ○豪雨によるため池の被災形態

区分	被災形態	被災メカニズム
越流破壊		豪雨により、貯水位が急激に上昇し、堤体を超えて流れ出すと、下流斜面を流下することによって、破壊する場合がある。 また、貯水位の上昇により、堤体内の水圧も上昇し、強度が低下して破壊する場合がある。
すべり破壊		貯留した水と降雨が堤体の中に浸透して、堤体内部の水分量が増加し、堤体の法面部の強度が低下することによって、法面部ですべりが発生し破壊する場合がある。
浸透破壊		堤体内が劣化して、水を遮る機能が低下すると、貯水位が上昇した時に堤体の中の水圧も上昇して強度が低下し、破壊する場合がある。 また堤体内に上流から下流に向かう水みちが発生し破壊する場合がある。

### ○地震によるため池の被災形態

区分	被災形態	被災メカニズム
クラック		堤体の頂部などにクラック(亀裂)が発生する場合がある。 堤体の上下流方向に生じるクラック(亀裂)は水みちとなることがあり、特に注意が必要である。
沈下		堤体の形状をほぼ保ち、クラック(亀裂)などを伴いながら堤体が沈下する場合がある。多くは軟らかい地盤で発生している。
斜面崩壊		堤体法面の上部が沈下し、下部がはらんで変形が生じる場合がある。
斜面すべり		地震動により堤体の法面にすべりが発生する場合がある。
崩壊		堤体や地盤が大きく変化し、崩壊する場合がある。決壊に至ることが多く、堤体や基礎地盤の液状化によるものと考えられる。

## 長面溜池ハザードマップ

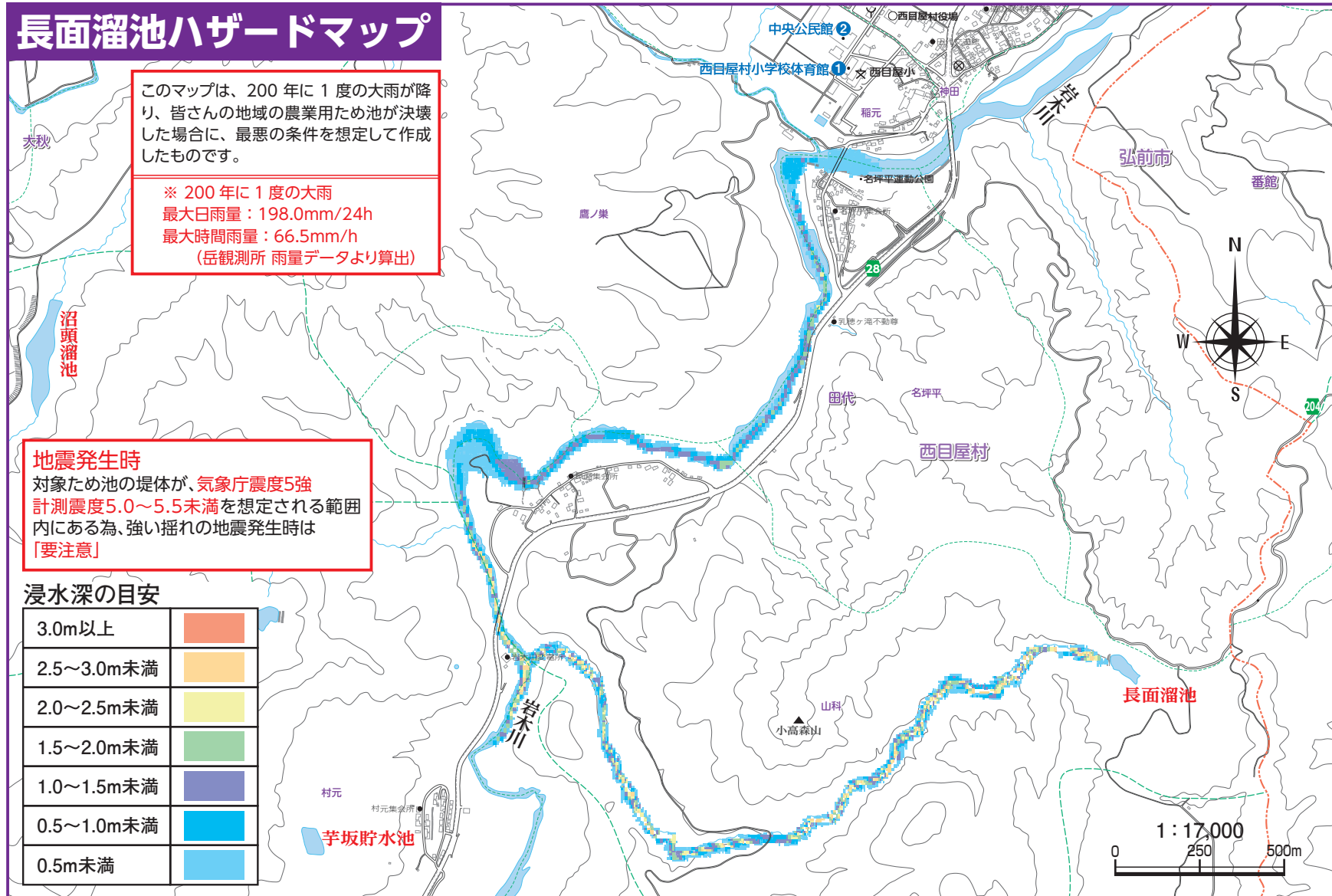
このマップは、200 年に 1 度の大雨が降り、皆さんの地域の農業用ため池が決壊した場合に、最悪の条件を想定して作成したものです。

※ 200 年に 1 度の大雨  
最大日雨量：198.0mm/24h  
最大時間雨量：66.5mm/h  
(岳観測所 雨量データより算出)

**地震発生時**  
対象ため池の堤体が、気象庁震度5強  
計測震度5.0～5.5未満を想定される範囲  
内にある為、強い揺れの地震発生時は  
「要注意」

## 浸水深の目安

3.0m以上	
2.5～3.0m未満	
2.0～2.5m未満	
1.5～2.0m未満	
1.0～1.5m未満	
0.5～1.0m未満	
0.5m未満	

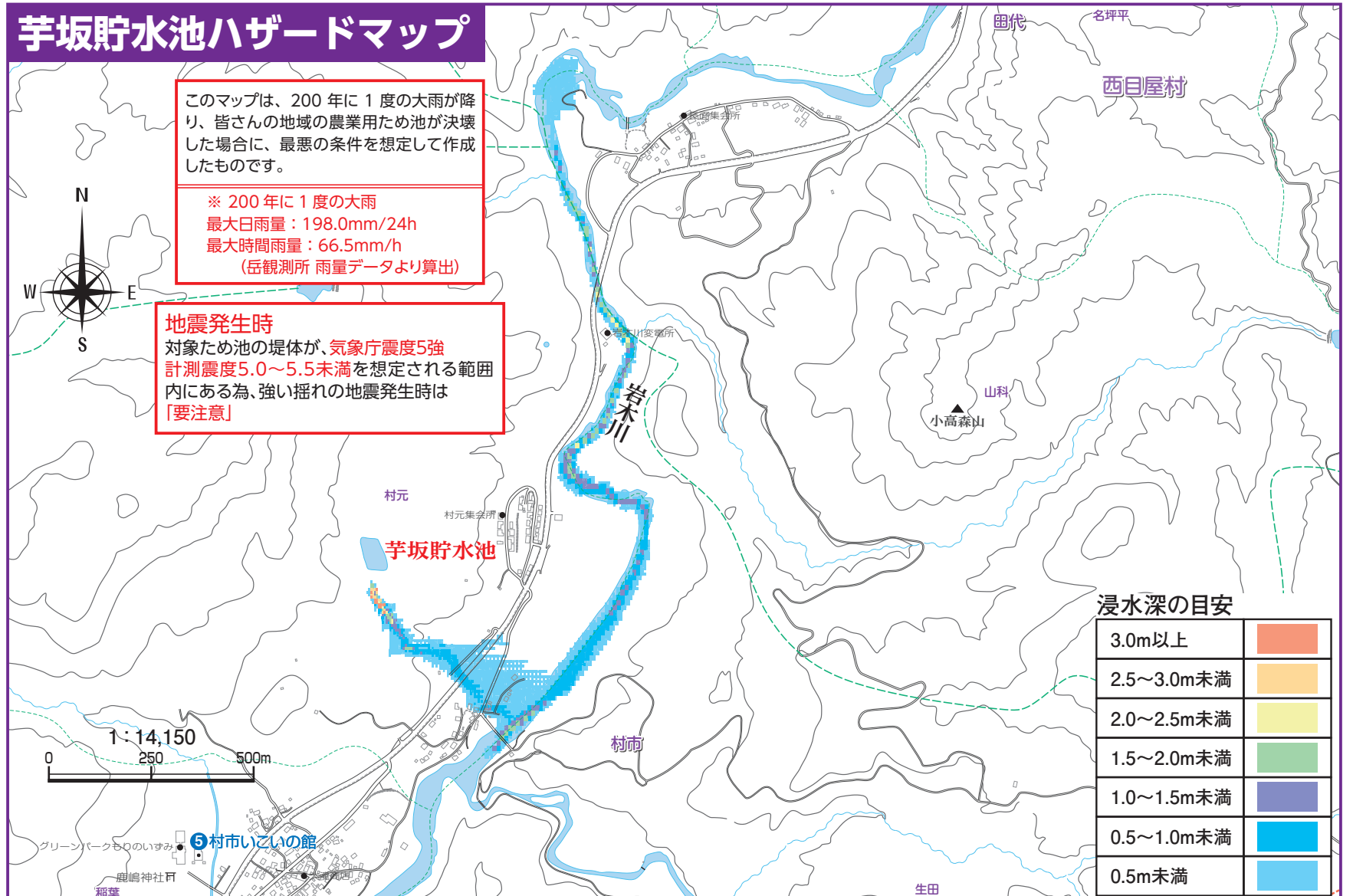


## 沼頭溜池ハザードマップ

このマップは、200 年に 1 度の大雨が降り、皆さんの地域の農業用ため池が決壊した場合に、最悪の条件を想定して作成したものです。

※ 200 年に 1 度の大雨  
最大日雨量：198.0mm/24h  
最大時間雨量：66.5mm/h  
(岳観測所 雨量データより算出)

**地震発生時**  
対象ため池の堤体が、気象庁震度5強  
計測震度5.0～5.5未満を想定される範  
内にある為、強い揺れの地震発生時は  
「要注意」





# わが家の防災対策&チェック

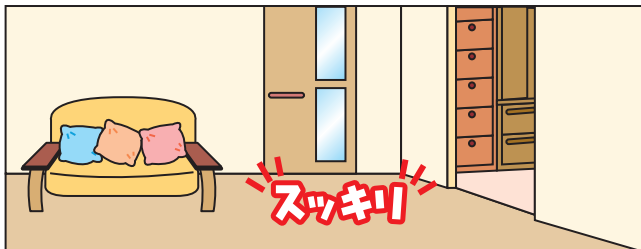
## 家の中の安全対策

事前に準備出来ているか、チェック☑しましょう。

# 1

### □ 家の中に逃げ場としての安全な空間をつくる

部屋がいくつもある場合は、人の出入りが少ない部屋に家具をまとめて置く。無理な場合は、少しでも安全なスペースができるよう配置換えする。



# 2

### □ 安全に避難するため、出入口や通路にものを置かない

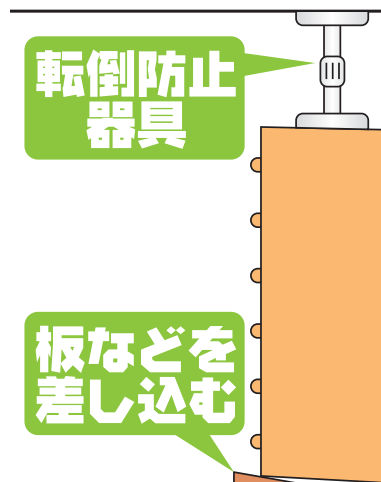
玄関などの出入口までの通路に、家具など倒れやすいものを置かない。また、玄関にいろいろなものを置くと、いざというときに、出入口をふさいでしまうことも。



# 3

### □ 家具の転倒を防ぐ

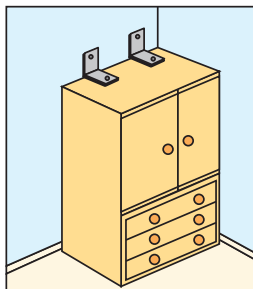
家具と壁や柱の間に遊びがあると倒れやすい。家具の下に小さな板などを差し込んで、壁や柱によりかかるように固定する。また、金具や固定器具を使って転倒防止策を万全に。



## 家具の転倒、落下を防ぐポイント

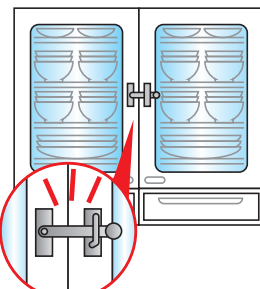
### タンス・本棚

L字金具や支え棒などで固定する。二段重ねの場合はつなぎ目を金具でしっかり連結しておく。



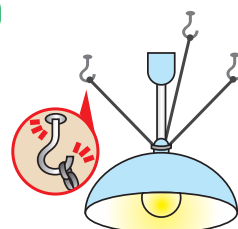
### 食器棚

L字金具などで固定し、棚板には滑りにくい材質のシートやふきんなどを敷く。重い食器は下の方に置く。扉が開かないように止め金具をつける。



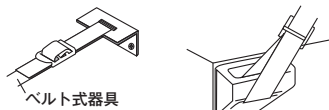
### 照明

チェーンと金具を使って数箇所止める。



### 冷蔵庫

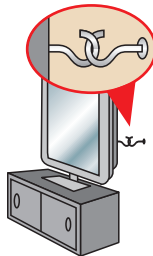
転倒防止用ベルトで固定します。



冷蔵庫裏面の取手にベルトを通して、なるべく壁に寄せて固定する。

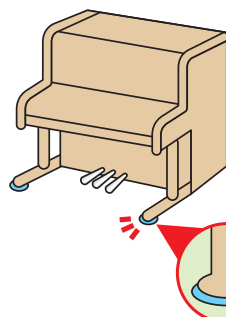
### テレビ

できるだけ低い位置に固定して置く(家具の上など、高い位置はさける)。



### ピアノ

転倒防止専用金具などで固定する。脚には、すべり止めをつける。



## 家の周囲の安全対策

事前に準備出来ているか、チェック☑しましょう。

### □ 屋根

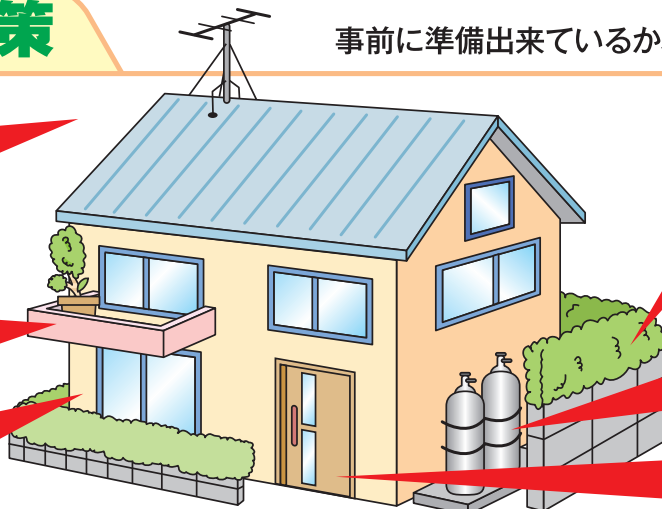
不安定な屋根のアンテナや、屋根瓦は補強しておく。

### □ ベランダ

植木鉢などの整理整頓を。落ちる危険がある場所には何も置かない。

### □ 窓ガラス

飛散防止フィルムをはる。



### □ ブロック塀・門柱

土中にしっかりと基礎部分がないもの、鉄筋が入っていないものは危険なので補強する。ひび割れや鉄筋のさびも修理する。

### □ プロパンガス

ボンベを鎖で固定しておく。

### □ 非常口の確保

# わが家の防災メモ

記入日

わが家の避難所

月

家族の集合場所

日

災害時の緊急連絡先

家族の名前	生年月日	血液型	既往症	会社・学校の電話番号

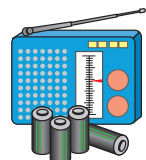
## 非常時持出品の準備&チェック

災害が発生し、避難する場合はもちろん、避難の必要がない場合でも、電気や水道、ガスなどが使用できない場合もあります。万が一の場合に備えて、家族で話し合い、災害時の非常時持出品や備蓄品を準備しておきましょう。

### 非常時持出品(例)

準備ができているか、チェック☑しましょう。

#### 携帯ラジオ



- ☐ ラジオ
- ☐ 電池(多めに用意)

#### 救急医薬品



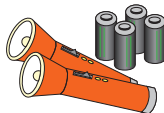
- ☐ 処方薬
- ☐ 絆創膏
- ☐ 傷薬
- ☐ 包帯
- ☐ 風邪薬
- ☐ 胃腸薬
- ☐ 鎮痛剤
- ☐ 消毒薬

#### 貴重品



- ☐ 現金
- ☐ 預金通帳
- ☐ 懐中電灯
- ☐ 印鑑
- ☐ 免許証
- ☐ (出来れば一人にひとつ)
- ☐ マイナンバーカード等
- ☐ 電池(多めに用意)

#### 懐中電灯



#### 非常食品

火を通さずに食べられるもの、食器など



- ☐ カンパン
- ☐ 缶詰・レトルト食品
- ☐ ミネラルウォーター
- ☐ 粉ミルク・離乳食
- ☐ 缶切り・栓抜き
- ☐ 紙皿・紙コップ
- ☐ 水筒
- ☐ 箸・スプーン等

#### その他



- ☐ 携帯電話充電器
- ☐ ヘルメット・軍手
- ☐ 布テープ
- ☐ ビニール袋
- ☐ ラップフィルム
- ☐ 防寒具(時季による)
- ☐ タオル
- ☐ 紙おむつ
- ☐ 雨具
- ☐ ライター
- ☐ ハザードマップ(本書)
- ☐ 敷物
- ☐ 衣類(下着・上着など)
- ☐ 生理用品
- ☐ ウェットティッシュ
- ☐ マスク

### 非常時用備蓄品(例)

災害復旧までの数日間(最低3日)生活できる準備ができているか、チェック☑しましょう。

#### 飲料水



- ☐ 飲料水としてペットボトルや缶入りのミネラルウォーター(1人1日3リットルを目安に)
- ☐ 貯水したポリタンクなど

#### 非常食品



- ☐ お米(アルファ米も便利)
- ☐ 缶詰・レトルト食品
- ☐ 梅干し・調味料など
- ☐ ドライフーズ・チョコレート・アメ(菓子類など)

#### 燃料



- ☐ 卓上コンロ
- ☐ ガスボンベ
- ☐ 固形燃料

#### その他



- ☐ 生活用水(風呂・洗濯機などに貯水)
- ☐ 毛布・寝袋・洗面用具・ドライシャンプーなど
- ☐ 調理器具(なべ・やかんなど)
- ☐ バケツ・各種アウトドア用品など

## ローリングストック法とは

- ・「備蓄食料」と問われると、大部分の人が「賞味期限の長い食料を大量に買って置く」と思いがち。
- ・間違いではないが、こんな失敗は？
  - 賞味期限が知らないうちに過ぎてしまった。
  - 賞味期限が近いので、続けて備蓄品を食べた。

その名の通り、食べながら(ローリング)、備蓄(ストック)する方法。

### 1 備える

ベースとなる3日分の非常食を用意する。さらにもう2食分を非常用ケースに。

### 2 食べる

1ヶ月に1回程度、日を決めて非常食1食分を食べる

### 3 買い足す

食べた後、1食分を買い足して補充する。

4 食べなれたものを常備!  
最初に用意した非常食は全て消費し、買い足した非常食とそっくり入れ替わる。

## 防災情報収集方法

### 国土交通省「防災情報提供センター」

- <https://www.mlit.go.jp/saigai/bosaijoho>
- 携帯電話から  
<https://www.mlit.go.jp/saigai/bosaijoho/i-index.html>

### 気象庁

- <https://www.jma.go.jp/jma/index.html>

### 青森地方気象台

- <https://www.jma-net.go.jp/aomori/>

### 総務省消防庁

- <https://www.fdma.go.jp>

### 西目屋村ホームページ（防災情報）

- [https://www.nishimeya.jp/kurashi_tetsuzuki/anshin_anzen/1/index.html](https://www.nishimeya.jp/kurashi_tetsuzuki/anshin_anzen/1/index.html)

### あおもり防災ポータル

- <https://bousai.pref.aomori.lg.jp>

### 青森県河川砂防情報提供システム

- <http://www.kasensabo.bousai.pref.aomori.jp>

### 青森県土砂災害警戒情報システム

- <https://www.dosya-keikai.pref.aomori.jp>

### 青森県土砂災害警戒区域等マップ

- <http://www.sabomap.jp/aomori>

## 災害用伝言ダイヤル

### 災害用伝言ダイヤルとは？

地震、風水害などの災害の発生により、被災地への通信が増加し、つながりにくい状況になった場合に提供が開始される声の伝言板です。

伝言の録音 171-1-被災地の方の電話番号

伝言の再生 171-2-被災地の方の電話番号

伝言内容(時間) 1伝言あたり30秒以内

伝言保存期間 災害用伝言ダイヤル(171)運用終了まで

伝言蓄積数 1電話番号あたり20伝言まで

利用可能電話 加入電話、INSネット(ダイヤル式を除く)、  
公衆電話、ひかり電話(ダイヤル式を除く)

## 防災関係機関連絡先

西目屋村役場	0172-85-2111(代)
弘前消防署目屋分署	0172-85-3119
弘前地区消防事務組合消防本部	0172-32-5101
弘前警察署 西目屋警察官駐在所	0172-85-3110
弘前警察署	0172-32-0111

青森県中南保健所	0172-33-8521
青森河川国道事務所	017-734-4521(代)
岩木川ダム統合管理事務所	0172-85-3035(代)
中南県土整備事務所	0172-32-1131
東北電力（停電・緊急時）	0120-175-366

## 西目屋村防災マップ 令和8年9月

発行 西目屋村総務課  
青森県中津軽郡西目屋村大字田代字神田 57 番地  
TEL 0172-85-2111  
FAX 0172-85-3040

製作・著作 株式会社ゼンリン 青森支店  
青森市長島2丁目25番1号 太陽生命ビル5F  
TEL 017-777-6261  
FAX 017-735-5758

無断で複写、転載することはご遠慮ください。著作権者に無断で本誌の全部、または一部を複製及び転載することは、著作権法により禁止されています。

「この地図は、青森県が作成した測量成果を青森県知事の承認を得て使用したものである。（承認番号令和6年1月16日付け青林第896号）」  
「測量法に基づく国土地理院長承認（使用）R5JHs 167-754号」

本文中の地図は、弊社2025年2月発行の弘前市②(東目屋・岩木・相馬)・西目屋村住宅地図をもとに作成しています。また、住宅地図による現地調査情報、編集独自の細かな情報も加えて制作しています。

作成には細心の注意をはらい、編集作業を行っていますが、データ量は膨大であり、日々変化する現状と地図面が一致しない場合があります。また、目標物は見やすさを優先し、正式名称などを一部割愛して掲載しています。何卒ご了承くださいますようお願い申し上げます。